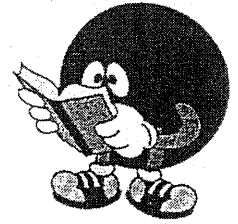
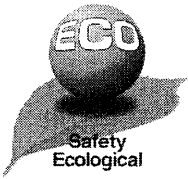


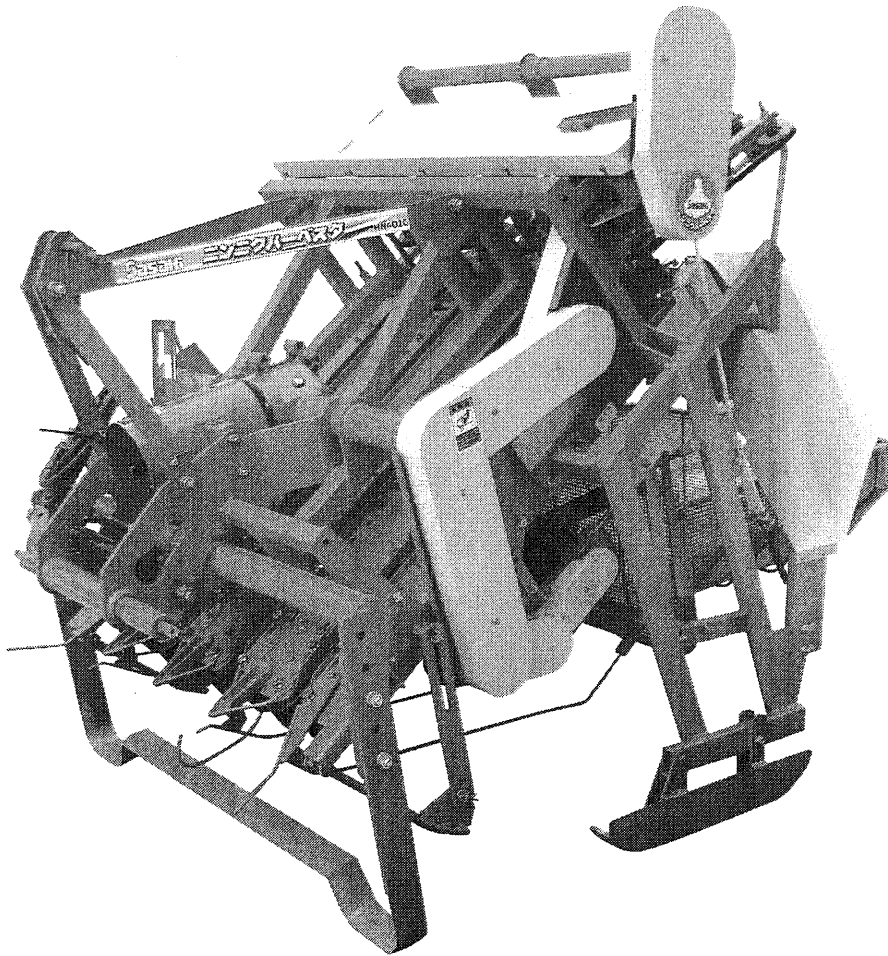
ササキ

人に、環境にやさしい



取扱説明書

ミニクローバスタ HN40ZC



本製品を安全に、また正しくお使いいただくために必ず本取扱説明書をお読みください。

誤った使い方をすると事故を引き起こすおそれがあります。

ご使用前に必ずお読みください。お読みになった後も必ず製品の近くに保管してください。

安全作業で家族も笑顔


目次

はじめに	1
安全に作業するために	2
安全銘板の貼り付け位置	8
保証とサービスについて	
◎保証書について，アフターサービスについて，補修用部品の供給について	9
各部の名称	10
装着前の準備	11
トラクタへの装着順序	12
作業前の調整	15
スイッチボックス使用方法について	17
作業方法	18
作業条件に応じた各部の調整	22
点検整備について	24
点検・調整	25
消耗部品一覧	29
主要諸元	30

商品をお買い上げいただき

誠にありがとうございます。

はじめに

- ◎ この取扱説明書は、ニンニクハーベスタ（以下本機）の取扱方法と使用上の注意事項について記載しております。ご使用前には、必ずこの取扱説明書を熟知するまでお読みのうえ、正しくお取り扱いいただき、最良の状態でお使いください。
- ◎ 本機は4条植えのニンニクを収穫する機械です。その他の目的で使用しないでください。
- ◎ お読みにになった後は必ず製品に近接して保管してください。
- ◎ 本機を貸与又は譲渡された場合は、この取扱説明書を商品に添付してお渡してください。
- ◎ この取扱説明書を紛失又は損傷された場合は、速やかに当社又は当社の特約店・販売店にご注文ください。
- ◎ なお、品質・性能向上あるいは安全上、使用部品の変更を行うことがあります。その際には、本書の内容及び写真・イラストなどの一部が、本機と一致しない場合がありますので、ご了承ください。
- ◎ ご不明なことやお気付きの点がございましたら、お買い上げいただきましたお店、又はお近くの特約店・販売店・農協にご相談ください。
- ◎  印付きの下記のマークは、安全上特に重要な項目ですので、必ずお守りください。



危険

この警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを意味します。



警告

この警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを意味します。



注意

この警告文に従わなかった場合、ケガを負うおそれのあるものを意味します。

重要

注意事項を守らないと、機械の損傷や故障の恐れのあるものをあらわします。

参考

その他、使用上役にたつ補足説明をあらわします。

- ◎ この取扱説明書には安全に作業していただくために、安全上のポイント「安全に作業するために」を記載してあります。ご使用前に必ずお読みください。

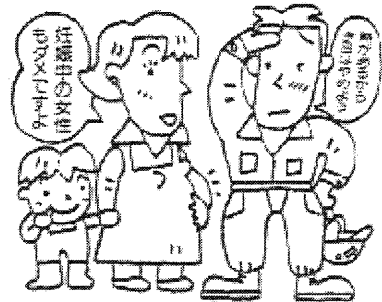
安全に作業をする為に

本機をご使用になる前に、この取扱説明書をよく読み、ご理解いただいたうえで安全な作業を行ってください。安全に作業するためにぜひ守っていただきたい注意事項は下記の通りですが、これ以外にも本文の中で「**▲** 警告サイン」として説明のつど取り上げております。

◎一般的な注意事項

▲ 警告 こんな時は作業しない

- ◆ 過労・病気・薬物の影響、その他の理由により作業に集中できないとき。
- ◆ 酒を飲んだとき。
- ◆ 妊娠しているとき。
- ◆ 18歳未満の人。

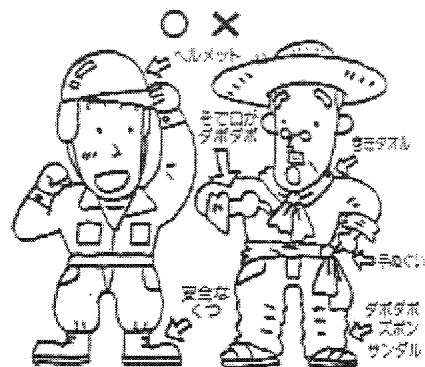


▲ 警告 作業に適した服装をする

はちまき・首巻き・腰タオルは禁止です。ヘルメット・滑り止めのついた靴を着用し、作業に適した防護具などをつけ、だぶつきのない服装をしてください。

【守らないと】

機械に巻き込まれる、滑って転倒するなどのおそれがあります。

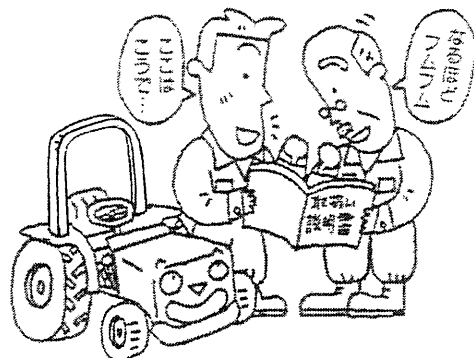


▲ 警告 機械を他人に貸すときは取扱方法を説明する

取扱方法をよく説明し、使用前に「取扱説明書」を必ず読むように指導してください。

【守らないと】

死亡事故や重大な傷害、機械の損傷をまねくおそれがあります。

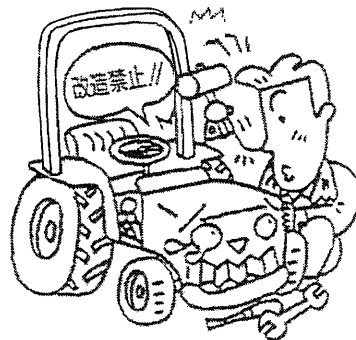


⚠ 注意 機械の改造禁止

純正部品や指定以外のアタッチメントを取り付けないでください。

【守らないと】

事故・ケガ・機械の故障をまねくおそれがあります。



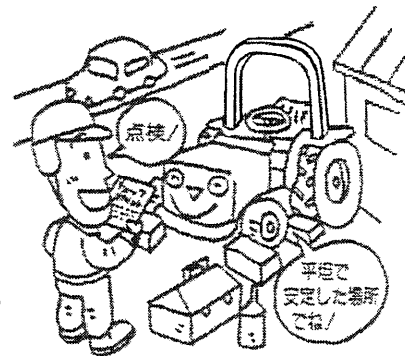
◎作業の前に

⚠ 警告 始業点検整備は平坦で安定した場所で行う

交通の危険がなく、機械が倒れたり動いたりしない平坦な安定した場所で、トラクタの前輪には車止めをして点検整備してください。

【守らないと】

機械が転倒するなど、思わぬ事故をまねくおそれがあります。

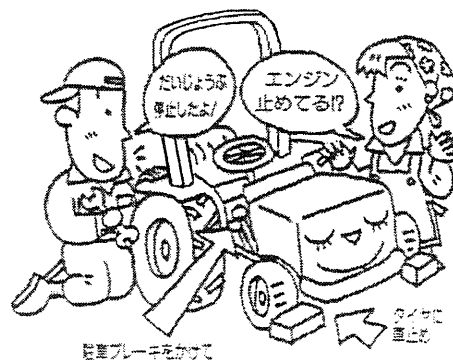


⚠ 警告 点検整備中はエンジン停止

点検・整備・修理または掃除をするときは、必ずエンジンを停止してください。

【守らないと】

機械の下敷きになるなど、傷害事故をおこすおそれがあります。



⚠ 注意

◇作業の前には点検・整備を行ってください。

◇各部のボルト・ナットなどのゆるみや、ピンの脱落がないか確認してください。

◇カバー類を外したら、必ず取り付けてください。

◎トラクタへの着脱

⚠ 危険 運転時はジョイントカバーを外さないでください

【守らないと】

ジョイントに巻き込まれて傷害事故を起こすおそれがあります。

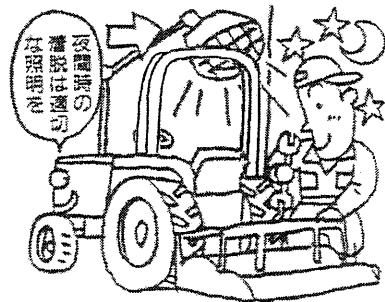


⚠ 警告 作業機の着脱は平坦な場所で行なう

作業機の着脱は平坦で安定した場所で行なってください。
夜間は、適切な照明をしてください。

【守らないと】

事故をおこすおそれがあります。



⚠ 警告 作業機の下にもぐったり、足を入れたりしない

作業機の下にもぐったり、足を踏み込んだりしないでください。

【守らないと】

何らかの原因で作業機が下がったときに、傷害事故を負うおそれがあります。

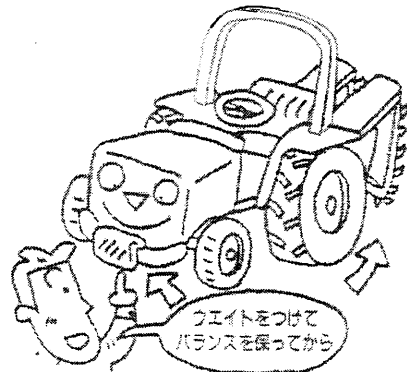


⚠ 警告 重い作業機をつけるときはウェイトでバランスを取る

重い作業機を装着したときは、フロントにバランスウェイトをつけてバランスを保ってください。

【守らないと】

バランスを崩して事故を引き起こすおそれがあります。



⚠ 注意

- ◆ トラクタから離れるときはエンジンを止め、駐車ブレーキをかけてPTO変速を中立にしてください。
- ◆ 2人以上で着脱を行なう場合は、互いに合図を確認しあって作業してください。
- ◆ ユニバーサルジョイントの止めピンが確実に軸溝にはまっているか確認してください。
- ◆ 取り付け部のピンがすべて確実に装着されているか確認してください。

◎路上走行

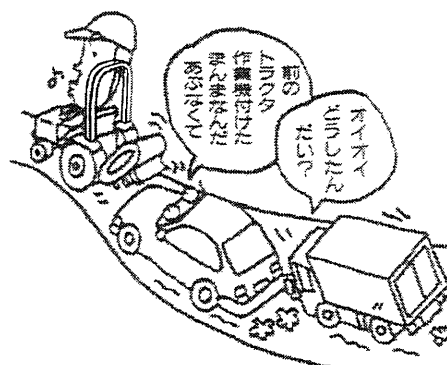
⚠ 注意 公道走行時は作業機の装着禁止

公道を走行するときは、作業機を取り外してください。

【守らないと】

道路運送車両法違反です。

事故を引き起こすおそれがあります。



⚠ 注意

- ◆ トラクタ、作業機に運転者以外の人を乗せないでください。
- ◆ 作業機の回転を止めて走行してください。
- ◆ トラクタの落下速度調整ハンドルを回して必ず油圧ロックをしてください。
- ◆ 旋回するときは、作業機に人や物が接触しないように注意してください。
- ◆ 作業機を装着した時機体寸法が大きくなるので、移動走行時は十分注意してください。
- ◆ 溝のある農道や両側が傾斜している農道では路肩に十分注意して移動してください。

◎圃場の出入り

⚠ 注意

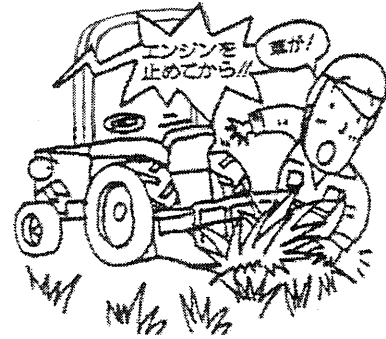
圃場に入るときは、必ず前進で速度を落とし、作業機を低くして重心を下げ、畦や段差に対して直角に進んでください。畦や段差に対して斜め方向に進むと、横滑りや転倒する危険があります。

◎作業をしているとき

▲ 警告 回転部（ツメ・刃、軸等）に巻き付いた草等を取るときはエンジン停止

【守らないと】

機械に巻き込まれて、重傷を負うおそれがあります。

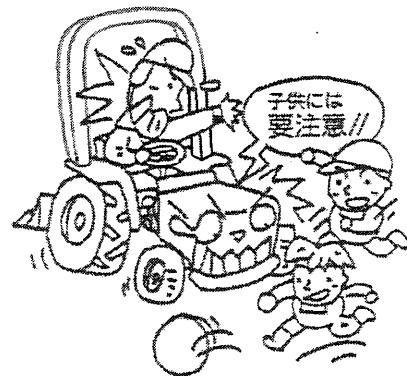


▲ 警告 子供を近づけない

子供には十分注意し、近づけないようにしてください。

【守らないと】

傷害事故を引き起こすおそれがあります。

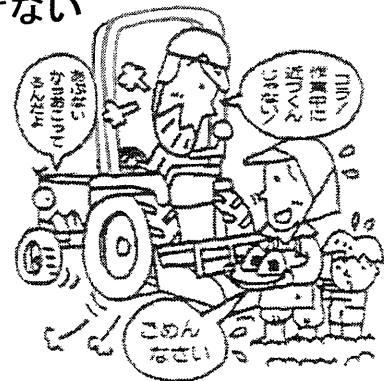


▲ 警告 トラクタと作業機の周辺に人を近づけない

トラクタを移動して作業機を着脱するときは、トラクタの周辺や作業機との間に人が入らないようにしてください。

【守らないと】

傷害事故を引き起こすおそれがあります。

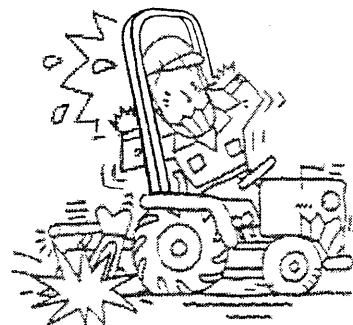


▲ 警告 作業機指定のPTO回転を守る

低速回転用の作業機を高速回転で使用しないでください。
作業機指定のPTO回転速度を厳守してください。

【守らないと】

作業機が異常作動し、事故や機械の破損を引き起こします。



⚠ 注意

- ◆ 補助作業者がある場合は、動作ごとに合図をかわしてください。
- ◆ 回転部分や動くところには触れないでください。

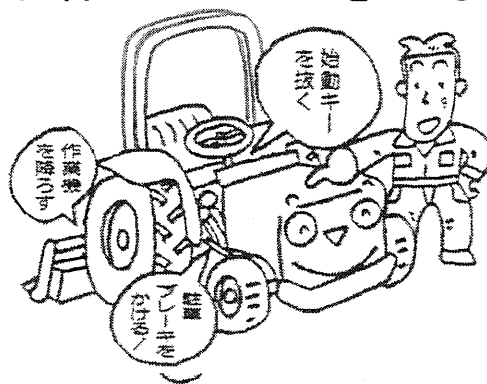
◎トラクタを止めるとき

⚠ 警告 機械から離れるときは作業機を地面に降ろしてエンジンをとめる

機械から離れるときには、平坦で安定した場所に置き、エンジンを止めて、必ず駐車ブレーキを掛け車止めをしてください。

【守らないと】

トラクタが動きだし、事故を起こすおそれがあります。



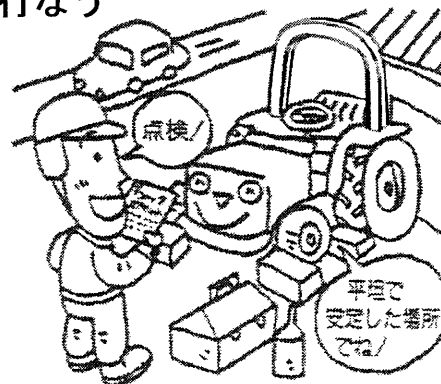
◎点検や格納のとき

⚠ 警告 点検整備は平坦で安定した場所で行なう

機械から離れるときには、平坦で安定した場所に置き、エンジンを止めて、必ず駐車ブレーキを掛け車止めをしてください。

【守らないと】

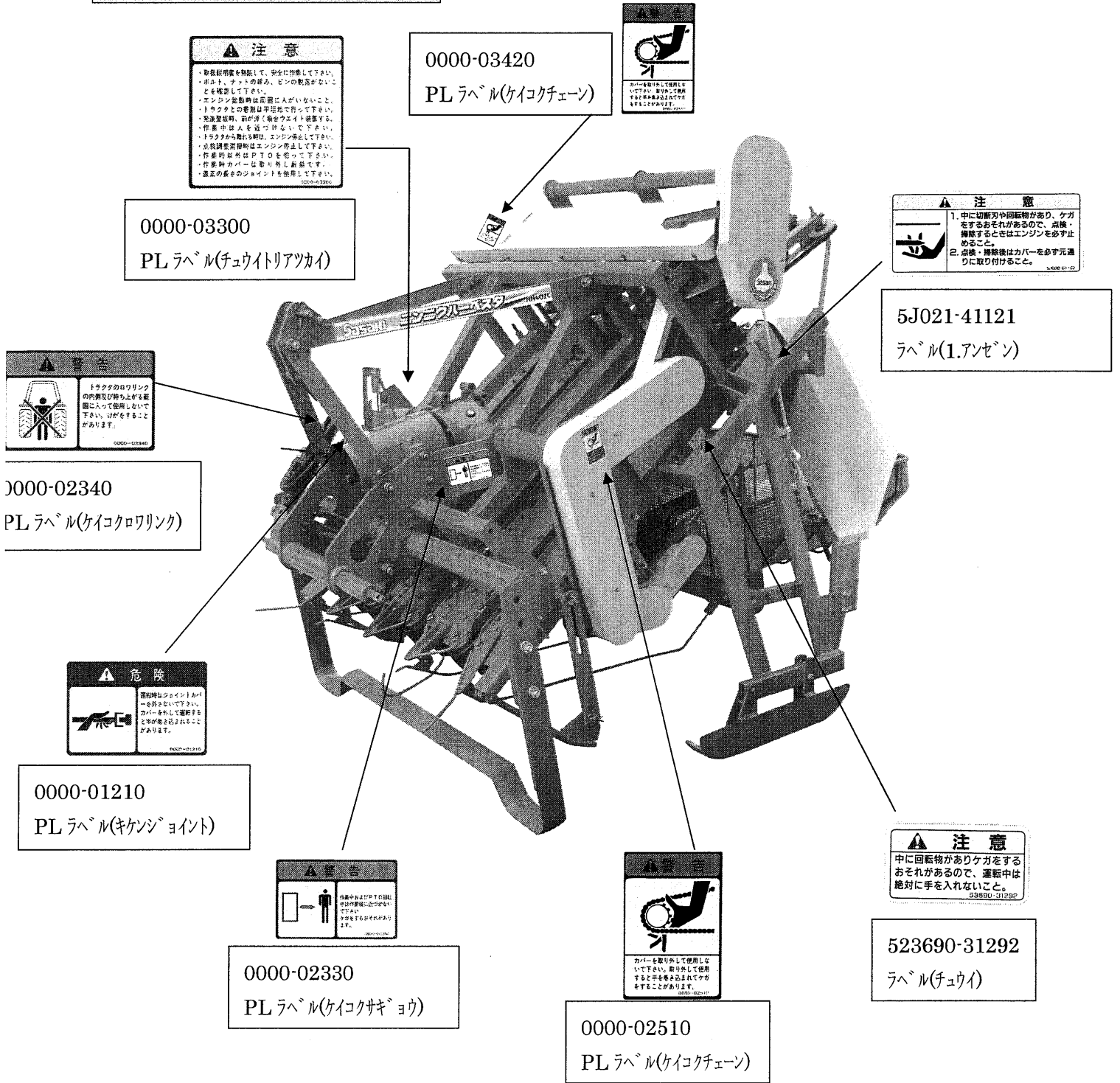
トラクタが動きだし、事故を起こすおそれがあります。



⚠ 注意

- ◆ 点検、整備時はトラクタのエンジンを止めてください。
- ◆ 機械の下にもぐったり、下で作業したりしないでください。
- ◆ キャスターなど付いている場合、車止めをして作業してください。

安全銘板の貼り付け位置



▲ 注意

- 安全銘板が破損した場合、はがれた場合は、上記番号・名称にて手配のうえ、貼り直してください。
- 新しい安全銘板を貼る場合は、汚れを完全にふき取り、乾いた面にして元の位置に貼ってください。

保証とサービスについて

◎保証書について

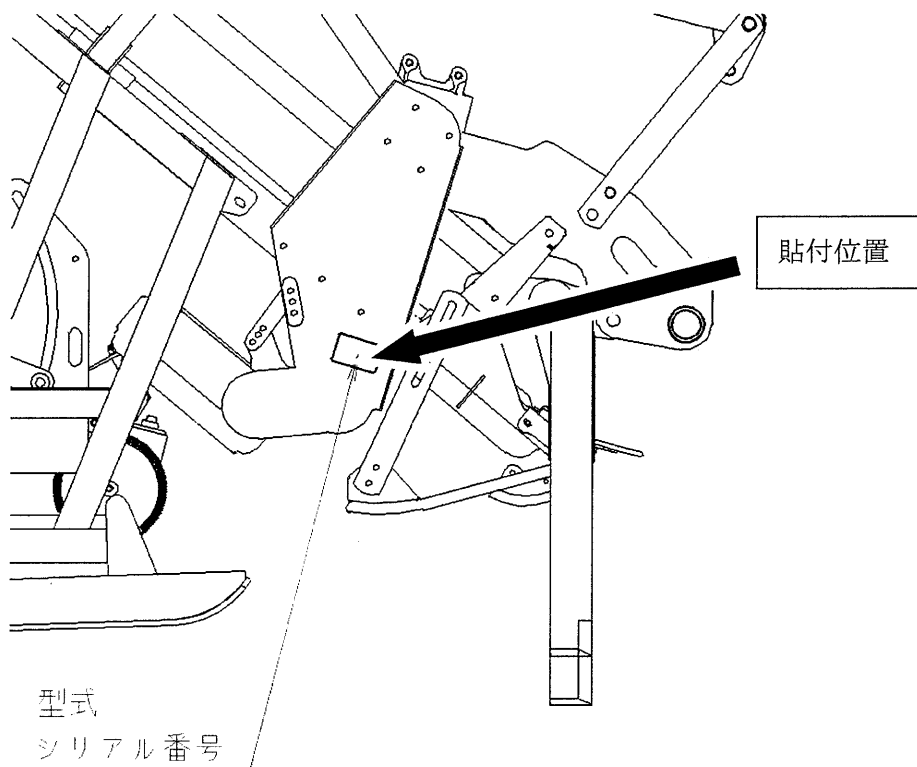
『保証書』は、お客様が保証修理を受けられる際、必要となるものです。
お読みになった後は、大切に保管してください。

◎アフターサービスについて

ご使用中の故障やご不審な点など不具合があるときは、お買い上げいただいた販売店等にご相談ください。

《ご連絡いただきたい内容》

- ◇ 型式名（機体銘板に明記してあります）
- ◇ シリアル番号（機体銘板に明記してあります）
- ◇ ご使用状況は？
（どのような作業をしていたときに？）
- ◇ どのくらい使用しましたか？
（約何アール又は約何時間使用）
- ◇ 不具合が発生したときの状況をできるだけ詳しくお知らせください。

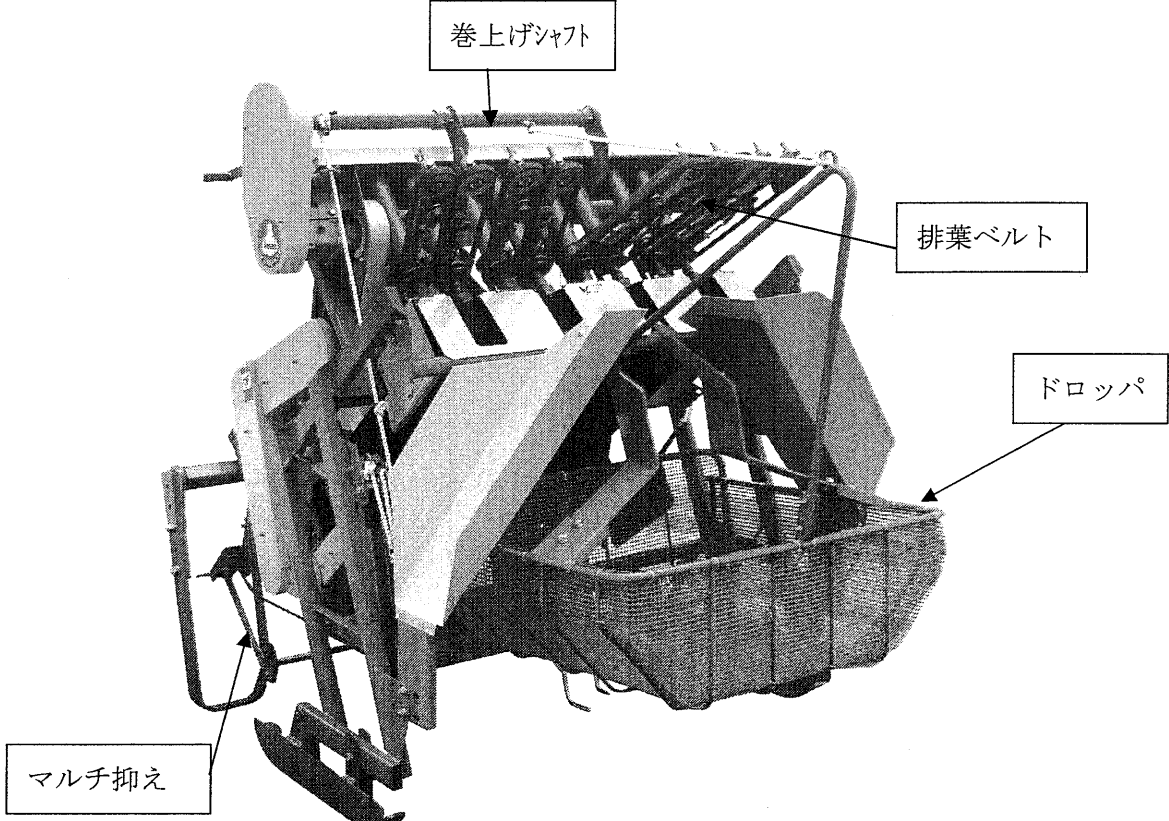
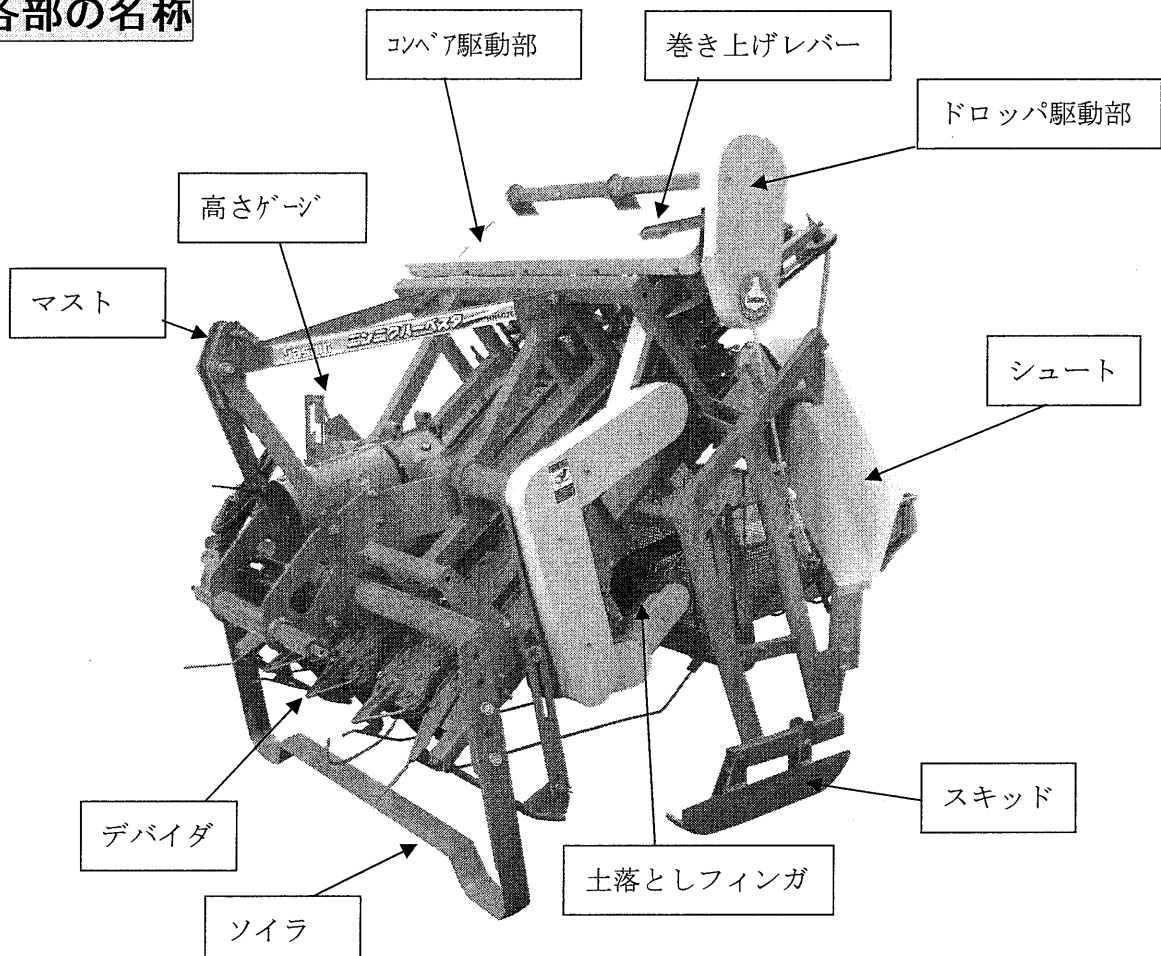


◎補修用部品の供給年限について

この商品の補修用部品の供給年限は、製造打ち切り後9年です。

ただし、供給年限内であっても、特殊部品については納期をご相談させていただく場合もあります。

各部の名称



装着前の準備

①各部のボルト・ナットのゆるみやピン類の脱落がないか確認してください。

⚠ 注意

●作業中にボルト・ナット・ピン等が外れますと、作業機の破損ばかりかトラクタの破損や人身事故につながる恐れがあります。

②作業機を装着すると機体の長さ、幅が大きくなり、重量バランスが変わりますので確認のうえ、適宜フロントウエイト等を取り付けてください。

⚠ 警告

●使用トラクタは適応馬力範囲以内で使用してください。適応範囲以内のトラクタでも発進時、登坂時、トラクタの前が浮き上がる場合は、必ずフロントウエイトを取り付けてください。

守らないと転倒等の事故で死傷する恐れがあります。

●作業機の着脱は、平坦で十分な広さがあり、地盤のしっかりした場所で行なってください。守らないと作業機が動いて死傷事故を起こす恐れがあります。

●作業機の下にもぐったり、足を入れたりしないでください。また、作業機とトラクタの間に入らないでください。挟まれて死傷する恐れがあります。

⚠ 警告

●二人以上で作業するときは、お互いに合図をし、確認しあって作業してください。特に、トラクタのエンジンをかける場合や、エンジンが作動している間は十分に注意してください。

守らないと死傷事故を起こす恐れがあります。

⚠ 危険

●ユニバーサルジョイントを取り付けるときは、必ずエンジンを停止してください。守らないと巻き込まれて死傷事故を起こす恐れがあります。

⚠ 注意

●装着時はトラクタのPTO変速を中立にしてください。

トラクタへの装着

⚠ 注意

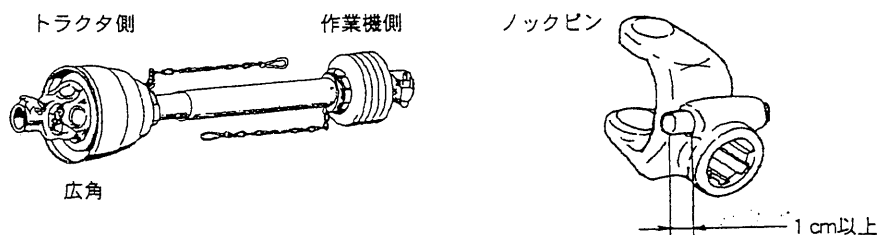
- 周りに人や障害物がないことを確認してから作業してください。
- 装着作業をする時は、平坦で固い場所で行ってください。
- 二人以上で作業する時は、お互いに合図し、注意して作業をしてください。

- ① 本機マスト部がトラクタ後方の中心に合わせてトラクタを静かに後退させてください。
- ② トラクタ油圧レバーを持ち上げて、左ロワリンク、右ロワリンク、トップリンクの順序で、3点リンクを取り付けて下さい。それぞれの固定ピンはリンチピンで抜け止めをしてください。

⚠ 注意

- 作業機脱着時は3点リンクの上下をゆっくり行ってください。急激な上下は危険です。また、本機が破損する場合があります。

- ③ ユニバーサルジョイントを装着してください。広角側をトラクタのPTO軸に装着してください。トラクタ側、作業機側ともにジョイントが正確に軸溝にはまっているか確認してください。ロックピンの頭部が1 cm以上出ていることを確認してください。



⚠ 危険

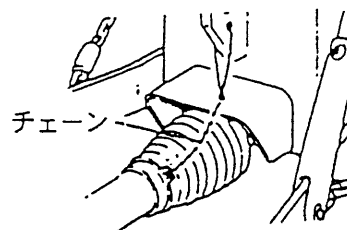
- ユニバーサルジョイントを取り付けるときは、必ずエンジンを停止してください。守らないと巻き込まれて死傷事故を起こす恐れがあります。

⚠ 注意

- ジョイントは確実にセットしてください。ロックピンが確実に入りロックしたことを確認してください。中途半端ですと回転中に抜ける恐れがあります。大変危険ですのでロックピンの頭が1 cm以上出ていることを確認してください。

※トラクタによってはユニバーサルジョイントの長さが合わない場合があります。その時はユニバーサルジョイントの切断方法の項を参照して調整してください。

- ④ ユニバーサルジョイントのチェーンをトラクタと作業機に取り付け、安全カバーの回り止めをしてください。



- ⑤ 本機油圧ホースをトラクタ外部油圧取り出しに接続してください。

! 注意

- トラクタの取扱説明書「外部油圧取り出し」項をよく読んでください。
守らないと機械の損傷やケガの原因となります。

- ⑥ マルチカッターへ スイッチボックス配線を接続してください

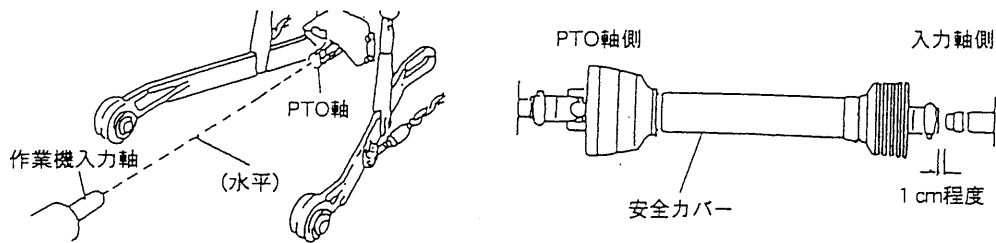
※トラクタへの配線接続は、本書「スイッチボックス使用方法」項を参照してください。

《ユニバーサルジョイントの切断方法》

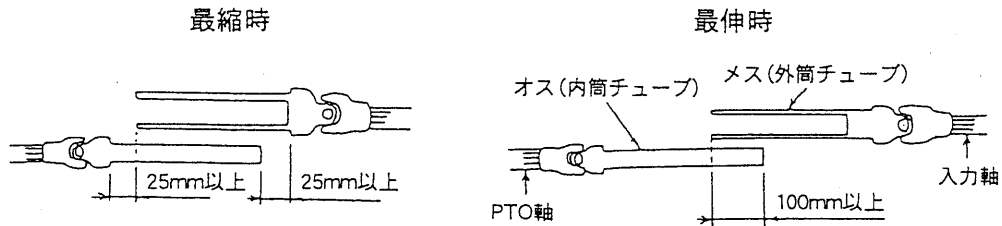
ユニバーサルジョイント（以下「ジョイント」）の長さは、必ず適正長さの範囲内で使用してください。短すぎるとジョイントが抜けて思わぬ事故につながり、長すぎると機械を破損してしまいます。短い場合は交換し、長い場合は切断してください。

◎ 適正の長さの範囲は次のとおりです。

トラクタのPTO軸と作業機の入力軸が水平で、1直線上にある時にジョイントが一番短くなる時です。この時に1cm程度のスキマがあればそのまま使用することができます。

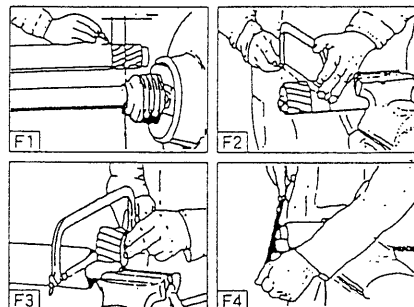


またジョイントのオス・メスを外してそれぞれ PTO 軸と入力軸を取り付け、水平で 1 直線上にあたる時（最縮時）に数の隙間が 25mm 以上あり、作業機を上下させてジョイントが 1 番伸びた時にオス・メスの重なりが 100mm 以上あると適正長さの範囲です。



切断方法

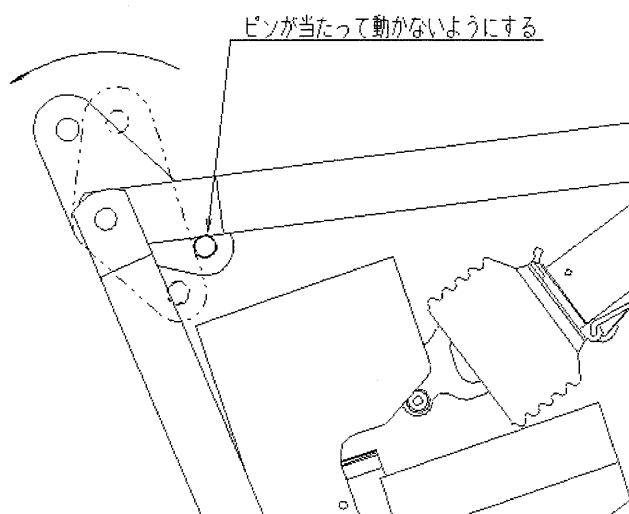
- ジョイントのオス・メスを外してトラクタと作業機の最短の作動位置に合わせ、相手側の安全カバーの筒の端から25mm隙間があく位置にオス・メスの安全カバーにそれぞれマークをつけてください。
- オス・メスの安全カバーにマークをした長さだけ安全カバーを切断してください。
- オス・メスの内・外筒チューブに安全カバーを切断した部分と同じ長さだけ切断してください。
- 切断後は切り口にヤスリをかけ、バリを除きスムーズにスライドできるようにしてください。



作業前の調整

1. トップリンクの調整

装着したら、トップマストがフリーにならないようにトップリンクの長さを調整してください。



⚠ 注意

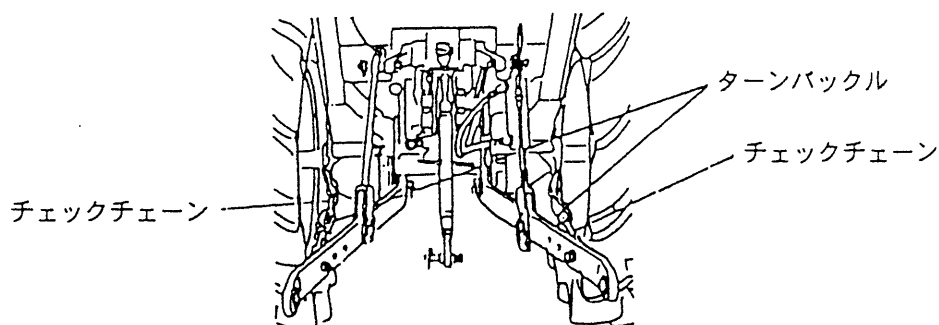
- 長さの調整が終わったら、必ずトップリンクのロックナット等でロックしてください。守らないと、ネジが外れて事故を起こす恐れがあります。

2. チェックチェーンの調整

⚠ 注意

- トラクタのエンジンをかけるときは回りに人がいないことを確認してから行なって下さい。

本機を少し持ち上げ、PTO 軸、ジョイント及び入力軸がトラクタの中心線上にあるようにチェックチェーンを左右均等に張ってください。その後、左右のチェックチェーンのターンバックルを0.5~1 回転ぐらい逆に戻してロックしてください。



3、左右水平の調整

本機を少し持ち上げ、左右水平になるようにトラクタの右側のリフトロッド長さで調整してください。

4、最上げ位置の規制

作業機を静かに持ち上げ、トラクタの一部に当たらないように「上げ規制」が必要な場合があります。トラクタの取扱説明書に従い、上げ規制を行ってください。

5、バランスウエイトの装着

作業機を装着してトラクタの前輪が浮き上がるような場合はトラクタにフロントウエイトを装着して、前輪の浮き上がりを防止してください。

6、異音のチェック

PTO を低速で回転させて、チェーンケース内及び動力伝達系統から異音がしていないことを確認してください。

注意

●トラクタのエンジンをかけるときには回りに人がいないことを確認してから行なってください。

スイッチボックスの使用方法

⚠ 注意

- コントローラー本体、リレー、配線等は危険ですので、分解及び改造はしないでください。

1.接続方法

⚠ 注意

- バッテリーの+と-を必ず確認してから接続してください。誤って接続すると電子部品の故障の原因となりますので注意してください。
 - 本製品の所要電源は25～30アンペアです。電源は必ずバッテリーから直接取ってください。
 - コネクタの差し込める位置が限定されていますので、形状を良く見てカチッと音が鳴るまで差し込んでください。
- 1) ワイヤーハーネス(デンゲン)をトラクタバッテリーへ接続してください。
+と表示されているコードをバッテリーの+側へ、-と表示されているコードをバッテリーの-側へそれぞれ接続してください。
 - 2) スwitchボックスの2P カプラ(白色メス)とワイヤーハーネス(デンゲン)を接続してください。
 - 3) スwitchボックスの2P カプラ(白色オス)と作業機のハーネスを接続してください。
 - 4) スwitchを入れて回転方向を確認してください(進行方向に回っていれば正常です)

2.操作方法

- 1) スwitchを入れる前にマルチカッター一部に異物がないか確認してください。
- 2) 作業を始める直前にスswitchを入れ、作業が終わったらスswitchを切ってください。
(切り忘れるとバッテリー切れの原因になります)

作業方法

警告

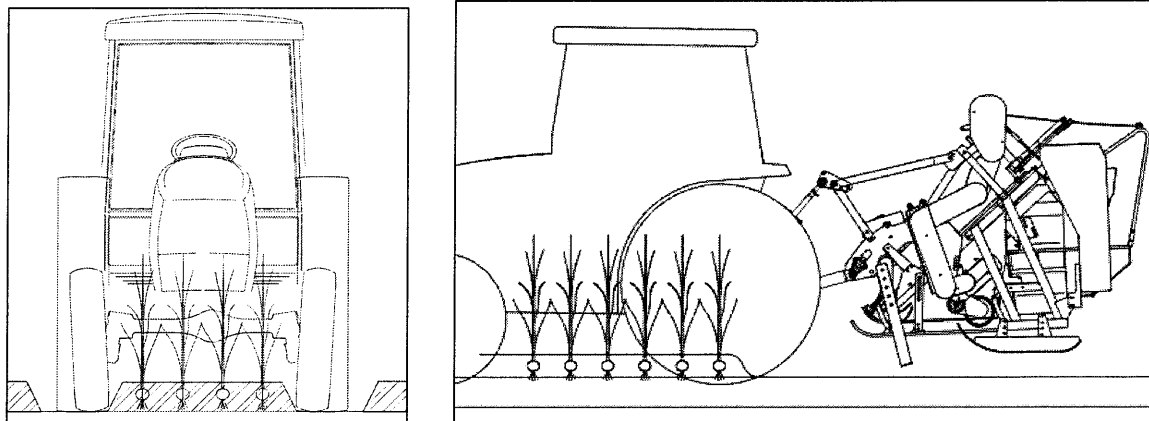
- 点検・整備時は必ずトラクタのエンジンを停止してください。
- エンジン回転中は、収穫機の回転部に手や身体を近づけないでください。
- 異常が発生したときは、必ずエンジンを停止してから点検してください。
- 外装部品（安全カバーなど）を取り外しての作業は絶対にしないでください。

注意

- 掘取作業をする場合は、周囲に充分注意し、特に、子供達を近づけないでください。
- エンジンの始動や各クラッチを入れるときは、ホーンその他の方法で補助者や周囲の人に合図して、安全を確認してください。
- バックする場合は、後方に人がいないか、川やがけがないか充分確かめてください。
- 機体があぜや凸部を越えるときは、重心の位置が変わって機体が上向きから下向きに姿勢が急に変わり、大変危険です。減速してゆっくり走行するようにしてください。
- 機械を離れるときは、必ずエンジンを停止してください。

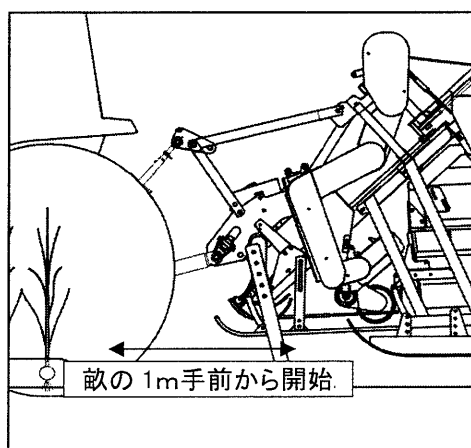
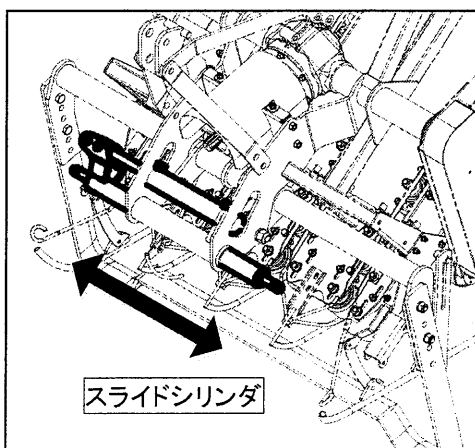
◎ 作業手順

- 1) トラクタを畝中心に対して真直ぐになるように、トラクタ位置を移動し、畝をまたぎ侵入します。

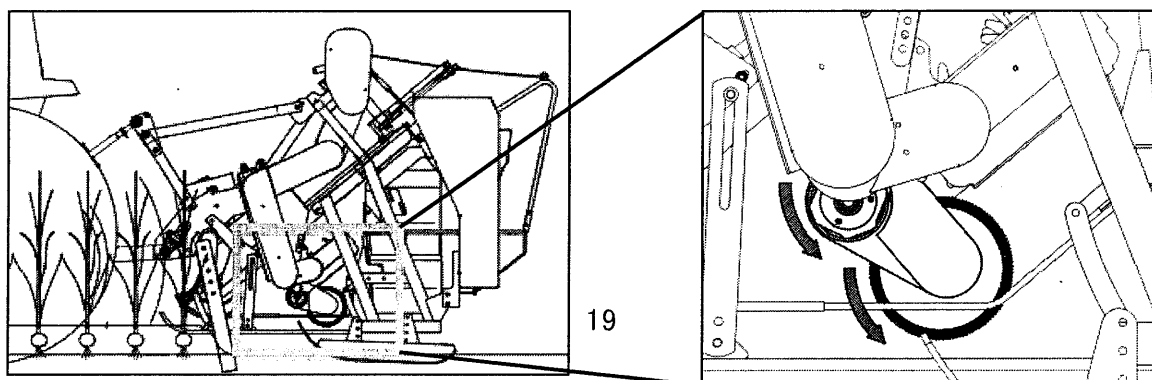


※トラクタの車輪がうね間になるようにして作業してください。うね間でないと作業が不安定になります。合っていない時は掘り取り位置の横スライド調整を行ってください。

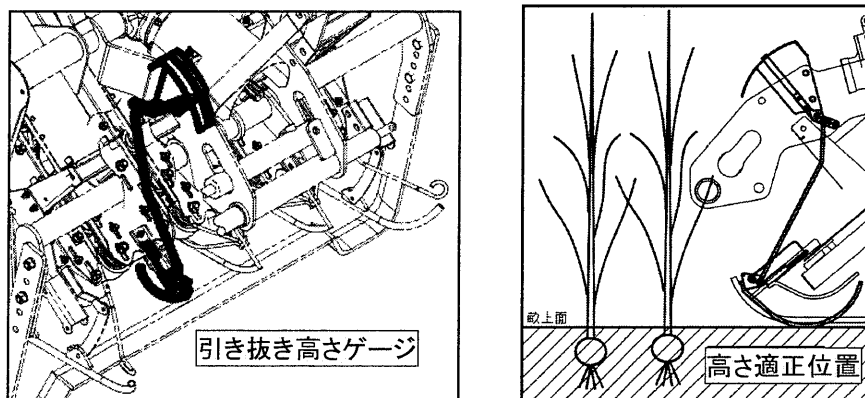
- 2) 本機の引抜コンベア先端中心が畝のセンター合うように油圧スライドシリンダを調整します。
- 3) エンジン回転数を低速にし、PTO レバーを1速にして回転させ、本機を油圧レバーで3点リンクをゆっくりと下げます。この時、畝の端に対してソイラが1mくらい手前の場所から作業開始するようにしてください。



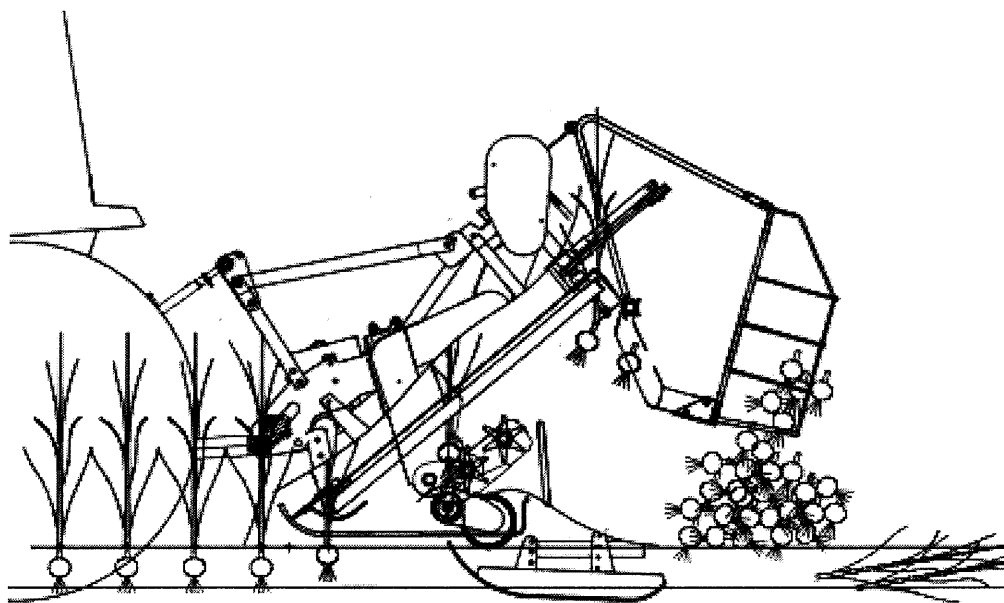
- 3) 引抜きベルトがマルチカッターのスイッチを入れてカッターを回します



- 6) 引抜き高さゲージを見ながらヒキヌキ状況を確認し、作業を進めてください。
 ※引き抜き高さゲージ位置を目安に本機の高さ(深さ)を適正位置に維持しながら作業します。



- 7) 抜き取り作業が安定してきたら、徐々にエンジン回転数を上げて使用してください。
 PTO 回転数は540回転以下にして使用してください。
 (目安:作業速度0.4でPTO350rpm程度)
 作業速度は0.4~0.8km/hです。作業速度に合わせてPTOも調整してください。
 8) ドロップパににんにくがたまったら、巻き上げレバーを押下し、ドロップパを上げて排出します。



- 9) 抜き取り作業が終点まできたら、走行レバーを中立にし、PTO回転を止め、エンジン回転を下げ、油圧3点レバーをゆっくり操作して作業機を上げてカッターのスイッチを切ってください。

注意

- 作業中、ソイラ、コンベア等にニンニクや異物等がからみついた場合、必ずエンジンを止めてから取り除いて下さい。巻き込まれてケガをする恐れがあります。
- 作業機を装着すると前後バランスが変わります。発進時に前が浮く場合には転倒する場合がありますので、フロントウエイトを装着して静かに発進してください。
- 作業中に異音が発生したら直ちにPTOクラッチを切り、エンジンを停止してください。その後原因を確認して処置してください。

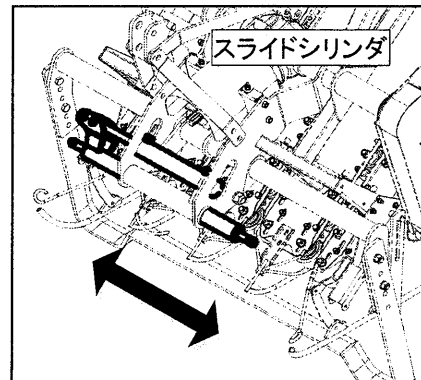
注意

- 運転者がトラクタから離れる時は、必ずエンジンを停止してください。
- 補助者作業者はできるだけ機械から離れて作業をし、危険な場合は直ちに避難できるようにしてください。
- 掘り取り部が地表から出ている時は、必要以上に駆動しないでください。
- PT0540rpm以下、作業速度0.8km/h以下を厳守してください。速度が速すぎると掘り取りベルトが外れる場合があります。
- コンベア周りにニンニクや異物等が絡み付いたり、詰まったりした場合は作業を中止し、取り除いてから作業するようにしてください。そのまま放っておきますと、故障の原因になります。
- 掘り取り作業中に以上が発生し、掘り取り部が動かなくなった時は直ちに作業を中止し、PTOクラッチを切り、エンジンを停止してください。その後原因を調べ正常な状態に戻してから作業を始めてください。
- 収納コンベアを動かす時はトラクタのPTOを停止し、走行をやめエンジン回転をおとして、アイドル状態にしてから動かしてください。エンジン回転が速いままだとコンベアが破損することがあります

作業条件に応じた各部の調整

1 引抜きコンベアの位置調整

トラクタの車輪がうね間にないと、作業が不安定になります。合っていない時には、引抜き位置をスライドシリンダで位置調整を行ってください。

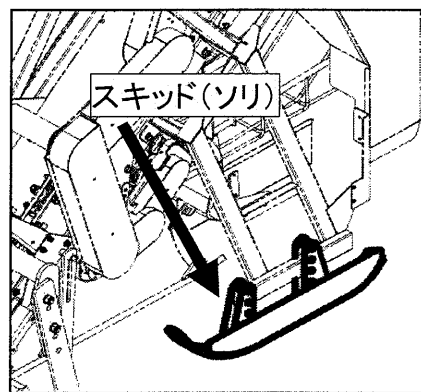


2 スキッド(ソリ)の調整

本機下部のスキッドは作業機の全体の高さを調整します。畝高さによって本機高さを調整し、作業を安定させます。

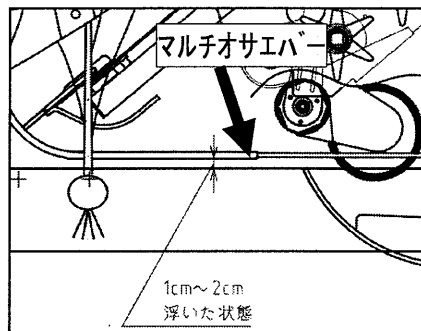
●調整の目安

作業中に本機が水平状態で下部のマルチオサエバーがマルチ上面から1cm～2cm 浮いた状態になるようにスキッドの高さを調整します。



参考

マルチ面に入り込むと、マルチの巻き付が発生しやすくなります。本機位置が常に浮いた状態を維持して作業してください。



●調整のときは

- 1) 作業機を静かに持ち上げ、スキッドが浮いた状態にします。
- 2) 3点リンク油圧バルブを閉め、本機が落ちてこないようにし、トラクタのエンジンを停止します。
- 3) スキッドのボルトを入れ替えて高さを調節してください。

3 ソイラの位置調整

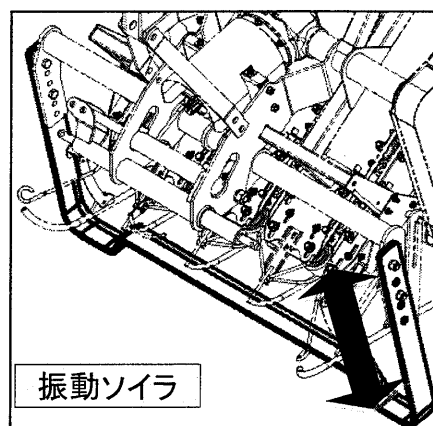
うね高さ、ニンニクの植え付け状況に合わせて位置を調整してください。

●調整の目安

作業中にニンニクの引き残しがある場合は、ソイラ深さを浅くする土のほぐれがよくなり引き抜きが安定します。

参考

収穫したニンニクがソイラで傷ついてしまう場合は、ソイラ深さが浅すぎます。ソイラを下げて深さを確保してください。



●調整のときは

- 1) 作業機を三点リンクで静かに持ち上げます
- 2) 3点リンク油圧バルブを閉め、本機が落ちてこないようにし、トラクタのエンジンを停止します。
- 3) ソイラのボルトを緩め、高さを一段ずらして固定してください。

▲ 注意

- 収穫作業中は、トラクタ車速やPTOを、適正に保ってください。速すぎますと巻き込まれてけがをする場合や、機械の破損、ニンニクの傷つきの原因になります。

移動時の注意事項

▲ 注意

- 作業機を装着すると前後バランスが変わります。発進時に前輪が浮く場合には転倒する恐れがありますので、フロントウエイトを装着して静かに発進してください。
- バックする場合は後方に人がいないか、がけや川はないか十分に確かめてください。
- トラクタがあぜ凸部を越えるときは、重心の位置が変わって機体が上向きから下向きに姿勢が急に変わり、大変危険です。減速してゆっくり走行するようにしてください。

点検整備について

注意

- 点検・水洗い時はトラクタのエンジンを停止してください。

●日常点検・整備

- ① 作業後は水洗い等をし、付着した土や巻き付いた異物を完全に除去して各部に給油してください。
- ② 消耗部や破損箇所を確認し、交換又は修理してください。
- ③ ボルト、ナット、ピン類のゆるみ、脱落がないことを確認してください。

●格納時の保守管理

- ① 水洗い、乾燥、保守塗装、給油、塗油等を行い、破損部分・脱落部分がある場合には交換、修理を行ってください。
- ② 格納する場合は平坦で湿気やホコリのない場所に安定させて保管してください。

●スイッチボックス等の電装品の取扱い

作業後スイッチボックスや電送品は、乾燥したホコリの少ない場所に保管してください。
湿気の多い所や、屋外に置いてきますと、湿気や結露で不具合が発生する場合があります。

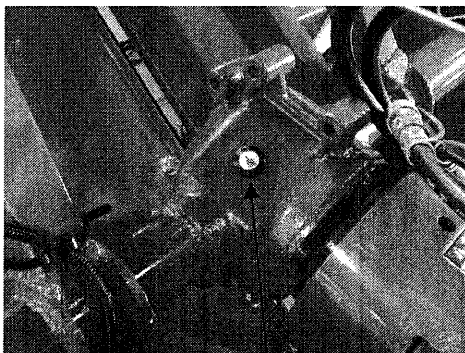
点検・調整

警告

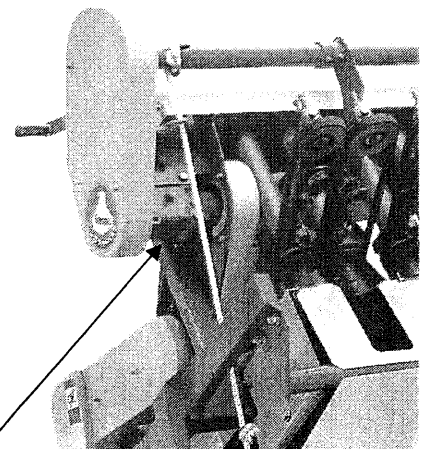
- 点検整備・調整する時は交通の邪魔にならず安全な所で行ってください。
- 点検整備・調整する時は必ずエンジンを停止し、トラクタの駐車ブレーキをかけ、PTO 変速レバーを中立守らないとケガをする恐れがあります。

- ① 作業前にボルト、ナット、ピン類の緩みや脱落がないことを確認してください。
- ② 給油・オイルの点検
本機は工場出荷時に給油して出荷されますが、下記にもとづいて給油してください。
給油はギヤオイルの#80又は#90を使用し、適量給油してください。

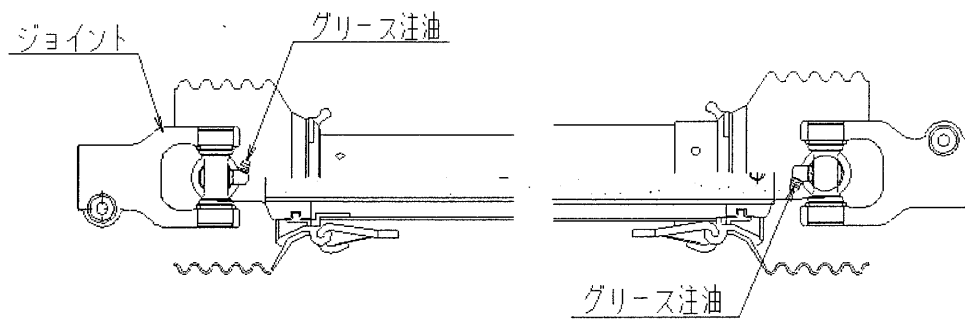
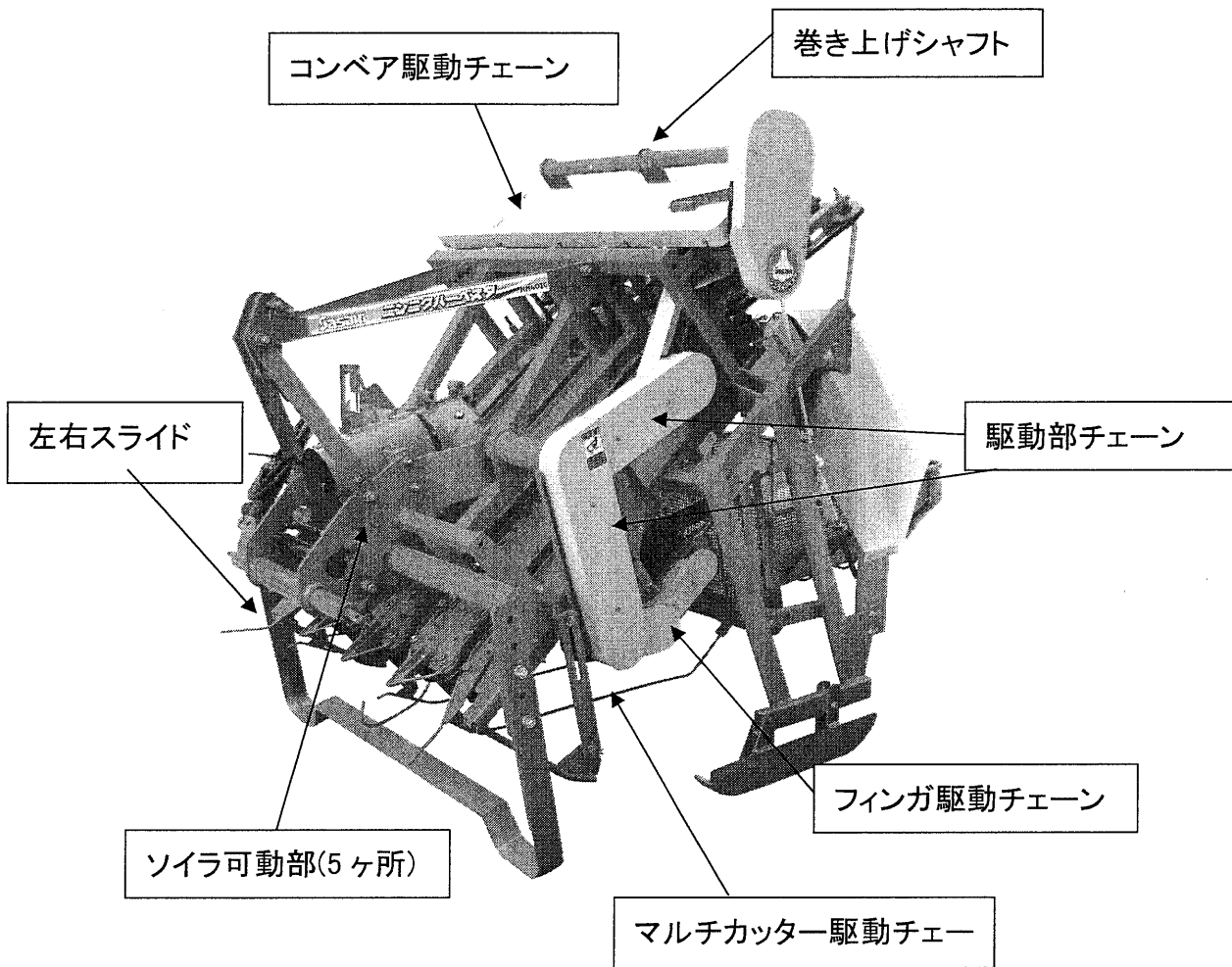
給油箇所	給油量	交換時期
入力軸ギアボックス	1.2 リットル	整備時
巻き上げ駆動部ギアボックス	0.3 リットル	
駆動部チェーン	グリース適量 オイル適量	シーズン作業毎にチェーン全体にグリースを塗布してください。
フィンガ駆動チェーン		
コンベア駆動チェーン		
マルチカッター駆動チェーン		
ジョイント(2ヶ所)		作業前にグリースニップルよりグリースを適量補給してください。
ソイラ駆動部(5ヶ所)		
ロアリンクスライド部(1ヶ所)		
巻き上げシャフト(2ヶ所)		



入力軸ギアボックス



巻き上げ駆動部ギアボックス



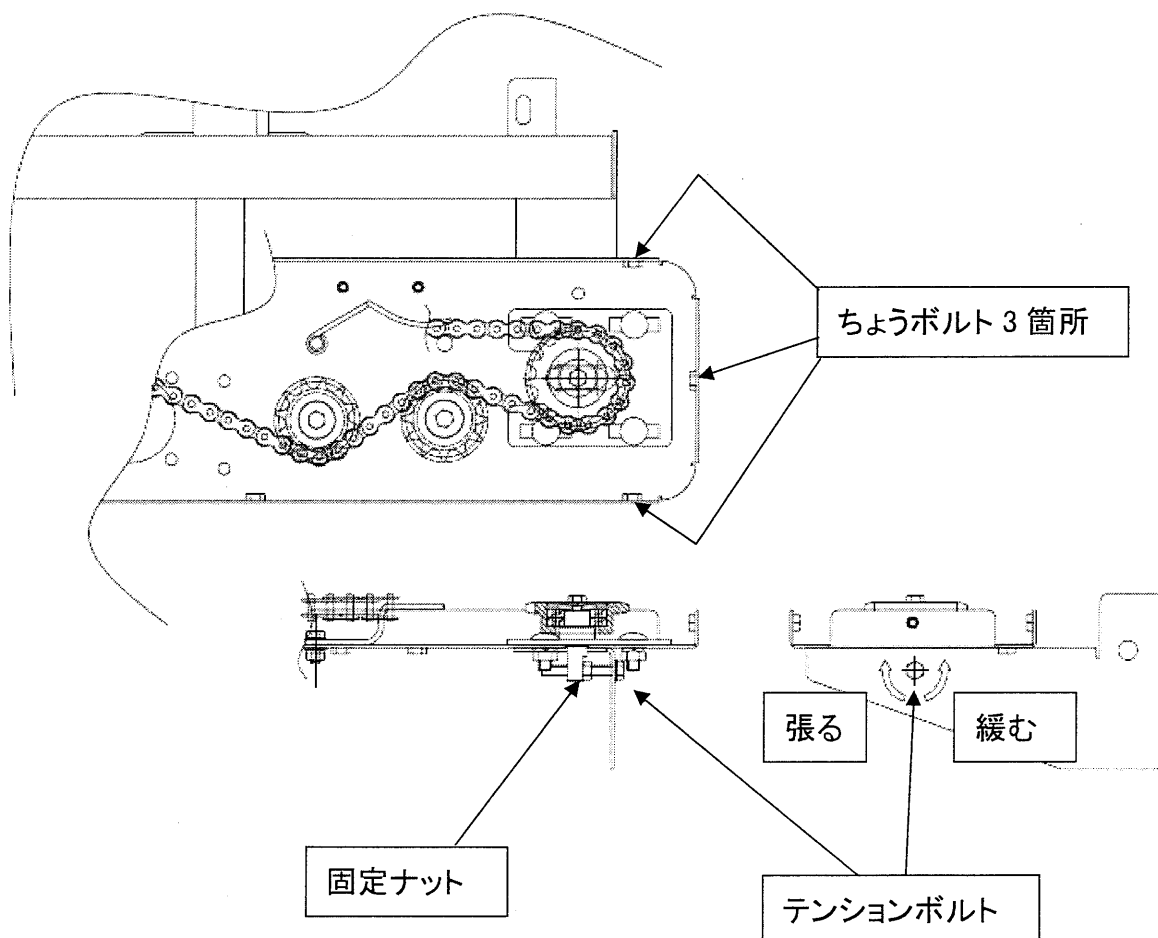
③チェーン・ベルトの点検、張り調整

1. 駆動チェーンの張り調整

- 1) カバーを取り外してください。
- 2) テンションロッドのボルトを緩め、たわみにロッドを押しつけてテンションを調整し、再度ボルトで固定してください。
- 3) カバーを元の位置に取り付けてください。

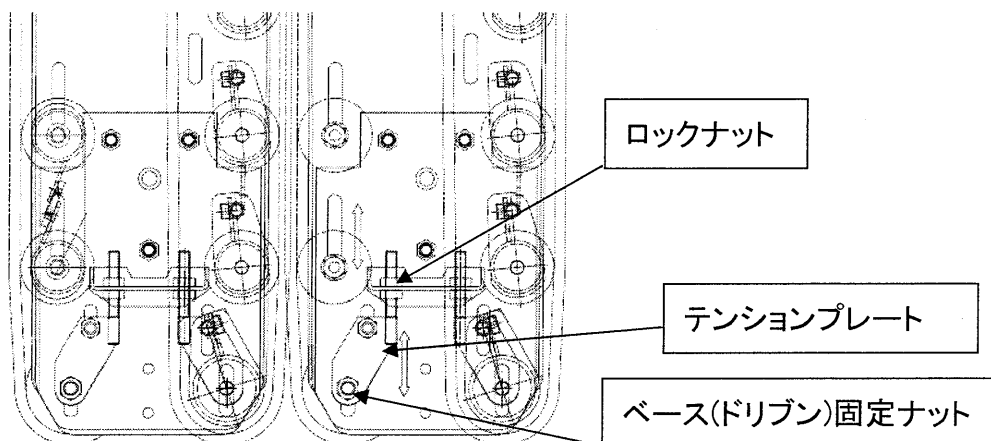
2. コンベア駆動チェーンの張り調整

- 1) 本機右側上部のちょうボルトを緩めカバーを開きます。
- 2) フレーム内側にあるテンションボルト固定ナットを緩め、テンションを固定している根角ボルトを緩めます。
- 3) テンションボルトを回しテンションスプロケットの位置を調整し、固定ナットを締めます。
- 4) 2)で緩めたボルトをすべて固定します。
- 5) カバーを閉じてちょうボルトで固定します。



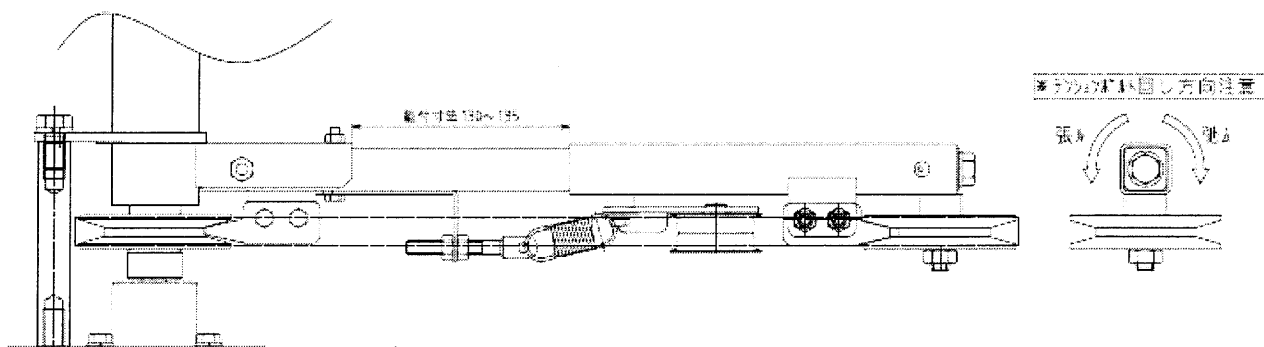
3. 引抜きコンベアベルトの調整

- 1) 引抜きコンベア前側のベース(ドリブン)を固定しているナットを緩めてください。
- 2) 引抜きコンベアベルトのたわみが中央部を指で押した時に 20~30mmになるようにテンションプレートで引っ張ってベルトを張ってください。
- 3) ベース(ドリブン)のナットを確実に固定してください。
- 4) テンションプレートのロックナットを締めて固定してください。



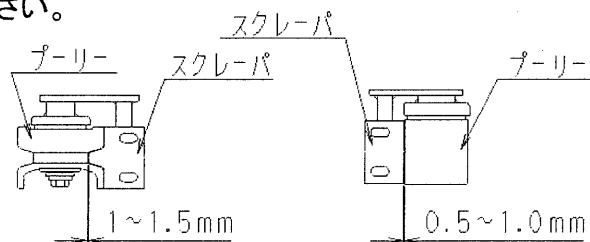
4. 排葉コンベアベルトの調整

- 1) 排葉コンベアベルト後端のボルトを回すと張り調整が行えます(回転方向注意)
- 2) 排葉コンベアベルトのたわみが中央部を指で押した時に30~40mmになるように張ってください。
- 3) テンションプーリー位置は、排葉ベルトの先端隙間が、引抜きコンベアベルトに対して、直進位置に来るように、合わせラインを内側へ調整します。
テンションロッドの調整ナットでバネを引き上げるとプーリー位置を調整します。
(テンションプーリーの調整によってコンベアベルトの張りが変化します。ベルトの張りを確認し、調整します。)



5、スクレーパ位置の調整

プーリーとスクレーパとの隙間を1～1.5mmになるようスクレーパ位置調整し、確実に固定してください。



消耗部品一覧

消耗部品は純正部品をご使用下さい。

番号	名称	部品コード	個数	規格
1	ソイラ	J95-221100-0	1	
2	ベルト(ヒキヌキ)	J95-461100-0	8	
3	セツダンバ	J93-465100-0	8	
4	スクレーパ(ミゾ)	J93-466300-0	48	
5	スクレーパ(ヒラ)	J93-466400-0	8	
6	ベルト(ハイヨウ)	J95-482700-1	4	Vベルト B-47
7	ベルト(ハイヨウ)	J95-482800-1	4	Vベルト B-42
8	スクレーパ(Vプーリ)	J95-584100-0	16	
8	ロープ	J95-459100-0	2	

主要諸元

名称	ニンニク収穫機
型式	NH402C
全長(mm)	2250
全高(mm)	1780
全幅(mm)	1460
重量(kg)	560
適応トラクタ kw(ps)	29.4~44.1(40~60)
掘り取り方式	振動ソイラ 狭持引き抜き
掘り取り条数	4
掘り取り条間(mm)	250
装着方式	日農工標準3P 直装
横スライド量(mm)	右100 左100
スキッド調整量(mm)	上40 下40
作業速度(km/h)	0.4~0.8
PTO回転数(rpm)	1速 540rpm以下
収納方法	巻き上げドロツパ方式
排葉方法	後方左右落とし

付属品

本機と別に下記の付属品が同梱されていますので、ご確認ください。

名称	品番	個数	備考
ユニバーサルジョイント	P11-115100-0	1	AS105-CV525
コントローラー	J95-751100-1	1	
ワイヤーハーネス(デンゲン)	DA1-311100-0	1	バッテリーからの電源配線 板ヒューズ(30A)[A8R-211801-0] 組み込み

MEMO

MEMO



株式会社

ホームページ <http://www.sasaki-corp.co.jp>

ササキコーポレーション

本社・工場 / 〒034-8618	青森県十和田市大字三本木字里ノ沢1-259	TEL 0176-22-3111	FAX 0176-22-8607
営業部 / 〒034-8618	青森県十和田市大字三本木字里ノ沢1-259	TEL 0176-22-0170	FAX 0176-25-3127
部品窓口 / 〒034-8618	青森県十和田市大字三本木字里ノ沢1-259	TEL 0176-25-3170	FAX 0176-25-3171
北東北営業所 / 〒034-0001	青森県十和田市大字三本木字里ノ沢1-75	TEL 0176-23-0354	FAX 0176-23-9655
仙台営業所 / 〒989-1631	宮城県柴田郡柴田町東船迫2-4-11	TEL 0224-58-7780	FAX 0224-58-7782
関東営業所 / 〒329-0201	栃木県小山市栗宮1241-9	TEL 0285-45-8911	FAX 0285-45-8910
長岡営業所 / 〒954-0124	新潟県長岡市中之島字1982-13	TEL 0258-66-0888	FAX 0258-66-0988
岡山営業所 / 〒702-8002	岡山県岡山市中区桑野110-2	TEL 086-274-9508	FAX 086-274-9510